福岡県指定無形民俗文化財

あさひざにんぎょうしばい

旭座人形芝居本公演



2026
11/3
祝

13：30 開演

入場無料・自由席



公演外題

「寿式三番叟（ことぶきしきさんばそう）」
旭座人形芝居保存会

「傾城阿波鳴門（けいせいあわのなると）」巡礼歌（じゅんれいうた）の段
黒木小学校人形浄瑠璃クラブ

「鬼一法眼三略巻（きいちほうげんさんりゃくのまき）」五条橋（ごじょうばし）の段
旭座人形芝居保存会

会場案内

旭座人形芝居会館

〒834-1222
福岡県八女市黒木町笠原5005-2

〈問合せ先〉
八女市　文化振興課
TEL　0943-23-1982（直通）

旭座人形芝居保存会について

旭座の起源は、1872（明治５）年ごろ、笠原（かさはら）地区の鰐八（わにはち）集落に浄瑠璃の名人が現れ、祝いの座でひょうたんや徳利を人形に見立てて操ったことに由来します。

以後、九州内の三座から首（かしら）を譲り受けて芸題を増やし、農閑期には八女茶のＰＲを兼ねて興業にまわりました。1907（明治 40）年に旭日に大鷹をあしらった引幕の寄贈を受け、地名に由来した「鰐八座」から「旭座」と呼ばれるようになりました。1955（昭和 30）年に福岡県無形民俗文化財に指定されたことを機に保存会を結成し、継承活動に取り組んでいます。



「寿式三番叟」

旭座人形芝居保存会

能の「翁」を人形浄瑠璃に取り入れ、景事物として上演する儀式の舞が「寿式三番叟」です。旭座では、お米やお茶などの収穫に対する五穀豊穣と、息災延命を願い、毎年１月20日の「初光り」と、７月15日の「翁渡し」による「座渡し神事」が継承されています。

右手に神鈴、左手に扇子を持ち、籾蒔きをイメージした躍動感あふれる動きで四方を清めます。黄金の稲穂が垂れるよう篩から次々と籾を蒔きながら、くまなく舞台を駆け回り、皆様のご健勝とご多幸を祈念します。

「傾城阿波鳴門」巡礼歌の段

八女市立黒木小学校人形浄瑠璃クラブ

阿波の国・徳島藩で、名刀・国次が何者かに奪われる事件が起きる。藩士・十郎兵衛は、この刀を取り戻すため、盗賊銀十郎として、女房のお弓とともに浪速に住んでいた。その上、夫の十郎兵衛は、今日中に五十両の金子を用立てなければならない事情にあった。

ちょうど、金策で夫が留守のところへ、巡礼姿のかわいらしい女の子がご報謝に訪れる。お弓が身の上を聞くと、国は阿波の徳島、父の名は十郎兵衛、母はお弓と答えた。それは紛れもないわが娘、お鶴だったのだ。

お弓は娘に災いが及ぶことをおそれ、母と名乗りたい気持ちをぐっとこらえるが、お鶴は「小さい時に別れて親の顔もはっきりと覚えがなく、よその子たちのように、母さんに髪を結ってもらいたい」と泣き出してしまう。お弓も涙をこぼしながら、お鶴の身を案じ、徳島へ帰るように諭す。そんなお弓に、「あなたが母さんのように思えてきました。何でもしますからここに置いてください」とお鶴は懇願するが、置いてやることはできない。お弓が帰りの旅費を渡そうとすると、お鶴は小判をもっているので心配ないと告げる。わが娘のいじらしさに打たれ、自分の簪で髪を結い直し、泣く泣くお鶴を送りだしたお弓。しかし、このままでは二度と会えないと、連れ戻す決心をしてお鶴の後を追いかけていくのだった。

「鬼一法眼三略巻」五条橋の段

旭座人形芝居保存会

原作は文耕堂と長谷川千四の合作で、初演は享保16年(1731)竹本座。本来の「鬼一法眼三略巻」は、『義経記』を題材にした五段構成。各段では、鞍馬山の天狗と称して牛若丸に兵法を授けた鬼一法眼や、義経の母・常盤御前をもらい受け平家方を欺くために阿保を演じた一条大蔵卿など、源氏再興のために活躍した男たちが登場する。

本公演では牛若丸（義経）と弁慶が出会う、五段目の「五条橋の段」を演じる。

（公演あらすじ）

牛若丸は勇猛な家来を求めて、夜な夜な五条橋へやってきていた。一方、比叡山で修行した弁慶は、千人斬りの願掛けをして行き交う人に戦いを挑んでいた。五条橋にあらわれる曲者の噂を聞いた弁慶は、その者を捕らえて従わせようと考え、大薙刀を担いでやってくる。

月明りに照らされた橋の上、薄物をまとい傘を差した艶めかしい女が立っている。僧侶の身で女に声をかけることもないと、道をゆずろうとした弁慶だが、すれ違いざまに邪魔をされる。「曲者」と切りかかれば、その相手こそが牛若丸だった。

弁慶の豪快な太刀まわりをものともせず、小柄な牛若丸は、ひらりひらりと身をこなし、軽快に橋の欄干を駆けあがり、弁慶を翻弄する。秘術を尽くして応戦する弁慶だが、ついには薙刀を打ち落とされ、観念して「あなたは何者か」と問いかける。相手が源氏の牛若丸と知った弁慶は、主従の契りを結び源氏再興を誓うのだった。



キリトリ線

旭座人形芝居本公演　おたのしみ抽選会

- ご来場の方には演目の終了後、おたのしみ抽選会をおこないます。
- 応募できるのは公演当日の会場内のみです。
- 氏名を記入の上、演目が終了するまでの間に、会場内に設置した応募箱に投かんして下さい。（必ず、ふりがなを記入して下さい）
- 応募はお一人につき一枚までとなります。複数枚応募されても、２枚目以降は無効となります。
- 抽選時点で会場内にいらっしゃらない場合、当選は無効となります。

応　募　券

（ふりがな）	
（姓）	（名）